

【事例1】

発生年月日	平成23年1月7日
発生場所	愛媛県、飲食店
原因食品	フグ
概要	営業者が自身で仕入れたフグを調理し、有毒部位とされる精巢等を提供したことにより、営業者1名と一緒に喫食した客2名の計3名が食中毒症状を呈し、1名（営業者）が死亡した。
患者	60代男性
主な症状	下痢、吐き気、嘔吐、胃痛

【事例2】

発生年月日	平成24年3月20日
発生場所	長崎県、家庭
原因食品	アオブダイ（推定）
概要	患者が漁で獲ったアオブダイを自宅で喫食したところ、食中毒症状を呈し死亡した。
患者	70代男性
主な症状	腰痛、手足の痛み、吐き気、熱感等

【事例3】

発生年月日	平成24年4月7日
発生場所	函館市、家庭
原因食品	トリカブトのおひたし
概要	患者が山林でニリンソウと誤って当該植物を採取し、自宅で調理して家族3名で喫食。喫食した3名全員が食中毒症状を呈し、うち2名が死亡した。
患者	40代男性及び70代男性
主な症状	吐き気、嘔吐、倦怠感、意識混濁

【事例4】

発生年月日	平成25年10月5日
発生場所	熊本県、家庭
原因食品	キノコの油炒め（推定）
概要	患者が山で採取したキノコを自宅で調理・喫食したところ、食中毒症状を呈し死亡した。採取現場のキノコの分析結果等から、当該キノコはドクツルタケと推定された。
患者	70代女性
主な症状	腹痛、下痢、嘔吐等

【事例5】

発生年月日	平成26年9月5日
発生場所	静岡県、家庭
原因食品	イヌサフラン
概要	原因食品の入手経路は不明だが、野草を自宅で喫食したところ、食中毒症状を呈し死亡した。
患者	70代男性
主な症状	下痢、吐き気、嘔吐、胃痛

【事例6】

発生年月日	平成27年2月16日
発生場所	宮崎県、家庭
原因食品	アオブダイ
概要	原因食品の入手経路は不明だが、患者が知人から譲り受けた魚を自宅で喫食したところ、食中毒症状を呈し死亡した。
患者	70代女性
主な症状	横紋筋融解症、急性腎不全、代謝性アシドーシス

【事例7】

発生年月日	平成27年3月28日
発生場所	福岡県、家庭
原因食品	フグの内臓（推定）
概要	原因食品の入手先は不明だが、患者が入手したフグの内臓を患者家族が調理して家族3名で喫食。患者だけが食中毒症状を呈し死亡した。
患者	70代男性
主な症状	下痢、脱力感、流涎等

【事例8】

発生年月日	平成27年6月11日（推定）
発生場所	札幌市、家庭
原因食品	不明（病因物質：コルヒチン）
概要	患者2名は死亡しているため具体的な経過は不明だが、患者2名の血液及び患者自宅で発見された吐しゃ物からコルヒチンが検出されたことから、イヌサフラン等のコルヒチンを含む食品を経口摂取した可能性が高いと推定された。
患者	70代男性及び70代女性
主な症状	不明

【事例9】

発生年月日	平成27年6月21日
発生場所	札幌市、家庭
原因食品	イヌサフラン（推定）
概要	家庭菜園で採取した植物球根を自宅で喫食したところ、食中毒症状を呈し死亡した。
患者	80代男性
主な症状	下痢、嘔吐、多臓器不全等

【事例10】

発生年月日	平成27年9月22日
発生場所	山形県、家庭
原因食品	イヌサフラン（推定）
概要	患者は死亡しているため具体的な経過は不明だが、患者が庭に生えていたイヌサフランの地上部をもぎ取り、そのまま生の状態で喫食したものと推定された。
患者	90代女性
主な症状	下痢、嘔気、嘔吐等